

# 2ndシミュのおさらい

文責：中野敦子

2nd シミュで行われたことや決まったことの要旨です。公式発言と WP の詳細な内容は議事録に書いてありますので、そちらを参照して下さい。

**2nd シミュ 6月7日 14:00~16:00**

公式発言を行った大使…UK、タイ、アフガニスタン

WP を提出した大使…アフガン①②、スイス、バングラデシュ、ハイチ、タイ、ジンバブエ（アフリカグループの意見を集めたもの）、ヴェトナム（アジアグループの意見を集めたもの）、スウェーデン、イタリア、インド、オーストラリア（OECD グループの意見を集めたもの）

## ポイント① ~各グループの大まかな方向性が決まった~

- 各グループにおいて、先週のメール交渉において各大使から出された意見のまとめをグループ内で読み込み、各大使が自分のスタンスと属すグループの方向性があるかどうか確認が取られた。

## それぞれのグループの今会議の目的

### アフリカ+αグループ

あくまで貧困削減。  
衛生面にこだわる必要はない

### アジア+αグループ

衛生面の改善は貧困の削減の為に重要。  
ただし、衛生面に特化する援助に対する疑問、包括的な援助が得られること。

### OECD グループ

貧困削減への一つの方策としての、  
衛生面の改善。

※ 各グループとも貧困削減を目的とはしているが、そのための方策が異なった。

**ポイント②** ～今会議の方向性が決まった～

- ・今会議の議論をどのような方向性で行うか、について、議場全体で議論が行われた。

貧困削減の方策には2種類ある。

**今現在の貧困という現状をなくすこと**

…アフリカグループが主に主張。

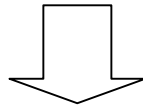
衛生面の改善よりもすぐ行うべきインフラ整備や食糧援助を。

※衛生面の改善を現在の貧困削減とみなす国もあってOK[中野敦子1]

**貧困を継続させないための方策**

…OECD グループが主に主張。

貧困削減の一つの方策としての衛生面の改善を。



**両方議論する**[中野敦子2]

**ポイント③** ～メール交渉で何を行うかが決定された～

- ・メール交渉では…

**☆今会議の目的に沿って、各大使から文言についての意見を出す（日本語）**

→3rd のはじめで各グループリーダーがそのまとめを出す

3rd シミュレーションでは、それを一つの形にする作業を行う。

注) メール交渉内でグループの変更も OK